



聖母ニュース



編集・発行
社会福祉法人聖母会聖母病院
〒161-8521
東京都新宿区中落合2-5-1
TEL03-3951-1111
<https://www.seibokai.or.jp>

聖母病院のニューフェイス



◆理 念◆

愛をもって病める人を癒されたキリストにならい、国籍、信仰、貧富を問わず、心の通う医療を提供して病める人々の身体的、精神的、社会的、霊的ニーズをみताす。

◀ 基 本 方 針 ▶

1. 生命を尊重し、最善の医療をおこないます。
2. 地域医療機関および福祉施設等と連携し、安心できる医療をおこないます。
3. 病院の理念に基づいて質の高い医療人を育成します。

◀ 患者の権利と責務 ▶

患者の皆さまには次の権利が保障されています

1. 平等かつ適切な医療を受けられます。
2. 人権が尊重されます。
3. 病気、治療について十分な説明が受けられます。
4. 医療内容を選択または拒否できます。
5. 個人情報やプライバシーが守られます。
6. セカンドオピニオンを求めることができます。

患者の皆さまへのお願い

1. 適切な医療を受けるために、健康(病状)に関する情報を正しくお知らせください。
2. 医療行為に関して納得したうえで意思を明らかにし、指示に従ってください。
3. お互いによりよい治療と療養生活を送るために、定められた規則を守ってください。

聖書のことば

イエスは、苦難を受けられた後、使徒たちに、ご自分が生きておられることを数々の証拠をもってお示しになり、四十日にわたって彼らに現れて、神の国についてお話になりました。(使徒言行録1:3)

In the time after his suffering he showed them in many convincing ways that he was alive, appearing to them over the course of forty days and speaking to them about the reign of God. (Acts 1:3)

地域とともに歩む病院をめざして

病院長 宮越 敬



4月1日、あいにくの雨模様でしたが、当院は無事に17名の新入職員を迎えることができました。医療の場での活躍を志す一人ひとりがこれからの当院を支える貴重な存在です。新たな視点や声から学ぶことも多く、病院全体の成長につながることを期待しております。

2020年以降、当院はパンデミックに翻弄されながらも、診療の場を着実に広げてまいりました。高齢者医療では、緩和ケア・訪問診療・リハビリテーション・摂食嚥下サポートや褥瘡ケアを強化し、大腸がんに対する腹腔鏡手術、人工膝関節や人工股関節手術を推進しました。また、母子医療では無痛分娩や産後ケア・メンタルヘルスケア体制を整え、子ども総合医としての小児診療の充実を図りました。これらの取り組みを通じて当院が進むべき方向を改めて認識する機会となった5年間でした。

本年度はこれまでの取り組みを

発展させるとともに、特に医療連携・救急医療・災害対策に注力してまいります。「医療連携」ではクリニックだけでなく急性期基幹病院との連携を深め、より多くの方に適切な医療をうけていただける環境を整備します。「救急医療」では円滑な救急診療体制の確立を目指します。そして、「災害対策」では行政機関等と連携して災害時にも皆さまに安心いただける医療体制を整えます。

開院以来、当院は皆さまに支えられながら歩んでまいりました。これからも、受診される方とご家族、医療機関、そして職員の声を大切にしながら、高齢者・母子医療を軸とした「地域から信頼され、愛される病院」を目指し、努力を重ねます。どうぞよろしくお願いいたします。

179号の内容

地域とともに歩む病院をめざして……………	1	聖母病院創立物語 第15回……………	3
耳鼻咽喉科通信 第1回……………	2	着任医師紹介／聖母お元気倶楽部 ……	3
内科通信 第1回……………	2	外来診察表……………	4



「おくちあーん」で 見えるもの

部長 中川秀樹

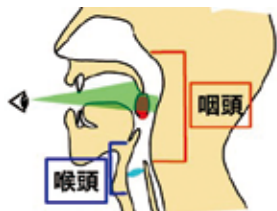
「おくちあーんとしてください」「のどが赤いですねー。おくすりを出しましょう。」

のどの診察というと、このようなやり取りや、右のイラストのような光景が頭に浮かぶのではないでしょうか。

感染症が流行すると、テレビのニュースなどでもこんな映像が流れますね。学校や会社での健康診断で、みなさま自身も経験のあることと思います。さて、このときわたしたち医者には何が見えているのでしょうか？

「のど」は詳しく言うと、咽頭(右の図で赤く示したところ)と喉頭(青いところ)のことです。

図のように、上は鼻の奥の突き当たりから、下はのどぼとけまで、のどはだいたい



上下に幅広いことがわかると思います。

お口からのどを診ようとする、患者さんによっては抵抗して舌が突っ張ってしまい、何も見えないこともあります。たいていの場合は舌圧子(ぜつあつし)というヘラで、舌を押さえながら拝見することになりますが、それでものどで見える部分はだいたい薄緑で示した範囲です。

これで見えるのは、軟口蓋(上あごの奥の方)、口蓋垂(のどちんこ)、口蓋扁桃(へんとうせん)、咽頭後壁(正面から見たのどの突き当りの壁)の一部、などです。

扁桃炎、ヘルパンギーナ、アデノウイルス感染症など、この範囲の診察で診断できる病気もありますが、図を見ていただければわかるように、見えているのは幅広いのどの一部分です。お口から見えない上の方(上咽頭)や、下の方(喉頭、中咽頭の一部と下咽頭)にもいろいろな病気が起こります。

耳鼻咽喉科は、ファイバースコープという胃カメラを小さくしたような内視鏡を使って、鼻の奥から咽頭、喉頭を広く、くまなく観察することが出来ます。次回からは、そのような「おくちあーん」では見えない病気について、お伝えしていきたいと思います。



高血圧とヤルタ会談

医師 伊藤直人

本年は終戦80周年の節目にあたります。

ドイツと日本の軍事的劣勢が顕著になった1945年2月、クリミア半島のヤルタで米国のF.ルーズベルト(63歳)、ソ連のスターリン(66歳)、英国のチャーチル(70歳)が会談を行い、第2次世界大戦後の基本的な枠組みが決定されました。

3首脳とも最終的には高血圧が大きく関係する脳血管・心臓疾患で逝去するのですが、ここでは、ルーズベルト大統領について触れます。歴代の米国大統領の中でも『人格・識見・指導力』などで高く評価されています。

1921年(39歳)、小児まひに罹患して下肢筋力が大きく失われましたが、精神的に国内外で活動しました。1933年に米国大統領に就任しますが、1944年段階で「210/110」と著明な高血圧が認められていたようです。長期の愛煙家でもありました。1945年1月4期目の大統領就任時前後には「260/150」と更に血圧が上昇しこの時点で緩慢な動作や言葉のもつれを指摘する人が居たとのこと。脳血管は悲鳴を上げていたのでしょう。

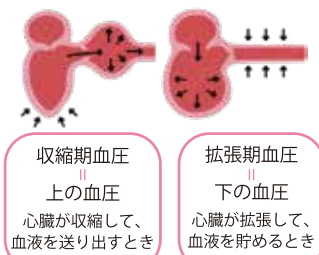
翌月、ヤルタまで長途の移動で疲労困憊、会談中「300/170」まで血圧が上昇。あれだけ怜れだった面影が消え、スターリンのペースで議論が進展。ドイツの分割、東欧・アジアへのソ連の影響

響力増大、国際連合設置後の拒否権問題など、米国外交団も不満を持ちながらも2月11日、8日間の日程を終了して合意に至りました。

帰国後4月12日、ジョージア州の別荘で失神、血圧は「300/190」。約2時間後に死亡宣告(脳出血)。

当時は有効な降圧剤が皆無に等しく、良好な血圧コントロールは困難。もし効果的な治療ができていれば大統領の判断力は保たれ、ドイツや日本の壊滅的な状況を理解して、「ソ連に有利な協定とならなかったのでは」という意見もあります(歴史に『イフ』はないのかもしれませんが)。

医師が、血圧につきややこざわりすぎると患者さまが思われた場合、こんな歴史的背景もあると思い起こしていただければ幸いです。



国際聖母病院の設計 (2)

小児科 部長 猪野雅孝

マックス・ヒンデルMax Hinder(1887-1963)による1929年(昭和4年)10月の設計図によると、病院本館1階は逆L字型で、南棟、西棟にあたる両翼が幅8m、長さ35mあり、交差部中央に玄関が配置されていました。角には昇降機(エレベータ)があり、南棟と西棟の2か所にそれぞれ塔まで続く階段がありました。南棟では各室を3m幅の廊下の南側に配置し、幅4mの外來待合室の東側は応接室、電療光線室、X光線室、診察室、医員宿直室が並び、待合室の西側には事務室と薬局がありました。西棟では廊下の西側に看護婦室、試験室、診察室、処置室などが並び、北端部は待合室とバルコニー付きポーチを張出した出入口となっていました。設計図では正門の左右に対称形に建物が描かれていました。正門左手が「守衛住宅」、右手が「庭師住宅」という図面でしたが、実際に建てられたのは右手の建物(4×8m)で、「門衛住宅」として使用されました。

2階は病室階で、南棟には東から1号室から12号室(9号室は欠番)がなっていました。東端に配置された2号室には奥行2m、幅4mのバルコニーが附属していました。また、南側の病室前にも奥行1.5m、全長32.5mのバルコニーがありました。廊下の西端は非常口で、その外側には奥行1.5m、幅7mのバルコニーと外階段が附属していました。西棟は北端に奥行2m、幅4mのバルコニーをもつ大部屋の13号室があり、2つの手術室と消毒室、看護婦室などが並んでいました。

3階も病室階で、南棟部分は病室、西棟部分は竣工当初は修道院や聖堂として使われましたが、1934年(昭和9年)に修道院と聖堂が建てられた後は病室となりました。南棟西端に幅6m、奥行10mの講堂が配置され、当初はここが聖堂として使用され

ました。西棟には食堂、職員居室、職員寢室5室が設けられ、これらが当初の修道院でした。2階、3階ともにそれぞれ厨房と配膳室が配置されており、それぞれの階で食事が作られていたものと思われます。

4階は2つの階段室塔屋とその間の休憩室とベランダで、5階の塔屋部は4×3mの長方形の4隅を0.5mずつ隅切りした八角形の2塔です。現在は西側の階段は撤去されていますが、当時は2つの塔に1階から階段でそれぞれ登ることができました。地階の南棟にあたる部分の南側には、事務室、従業員宿直室、食堂が並び、南棟の北側には暖房汽缶室(ボイラー室)、霊安室がありました。ボイラー室からは屋上まで煙突がまっすぐに伸びていました。西棟にあたる部分には、厨房、氷室、アイロン室、洗濯室などが配置されていました。南棟の南側と西棟の西側にはドライエリア「採光室」がとられていました。地上からの光が差し込む構造です。採光はマックス・ヒンデルがとても重視していたことのようにです。

*引用文献:角幸博著「マックス・ヒンデルと田上義也:大正・昭和前期の北海道建築界と建築家に関する研究」(1995)



煙突から煙、正門右手に「門衛住宅」

着任医師紹介

- ① 出身地 ② 卒業大学、卒業年度 ③ 専門
④ 聖母病院の印象 ⑤ 今後の抱負 ⑥ 患者さんへ一言

さわはら ゆめ
澤原 夢 医師

- ① 愛媛県
- ② 慶應義塾大学 2018年度卒
- ③ 内科(糖尿病)
- ④ 地域に根差した、温かい、伝統ある病院の印象です。
- ⑤ 生活習慣病に関して気軽に聞ける、未病を防ぐ環境づくりをしていきたいです。
- ⑥ 皆様に安心して頂けるような医療の提供ができることを目指しています。ご不安な点などありましたら、遠慮なくおっしゃって頂ければと存じます。

しみず りり
清水 莉璃 医師

- ① 東京都
- ② 日本医科大学 2022年度卒
- ③ 産婦人科
- ④ 父が生まれた病院でもあり、昔から身近に感じている「温かい病院」という印象です。
- ⑤ まだまだ未熟ではありますが、お産も手術も大好きなので、精一杯がんばります。
- ⑥ 自分自身も患者さん側の経験をしたことがあるので、少しでも気持ちに寄りそえる医師を目指します。

『聖母お元気倶楽部』
開催のご報告と次回のご案内

2024年度第4回聖母お元気倶楽部が2月20日開催されました。地域から32名の皆様が参加してくださいました。初参加の方がなんと12名もおられました!

今回のプログラム

- ① 当院理学療法士による講座「なぜ太極拳が体に良いか」と介護予防運動
 - ② 当院看護師による講座「ずっと元気で暮らすために体の状態をチェックしませんか」
 - ③ 交流会
- 交流会には看護師が同席し、講座で使った体のチェック結果を元に皆様が情報交換しました。

次回は5月29日木曜日 13:30~15:30
多くの皆様のご参加をお待ちしています。

***** 聖母病院看護部 *****

外来診察表

◇お知らせ◇ 当院は原則予約制です。ご予約のない患者さまは、お待ちいただく時間が長くなる可能性あることをご承知ください。(令和7年4.1～)

			月	火	水	木	金	土（第3週休診）
内 科	午前診療	①	濱松 永昌	宮本 大介	北濱真理子	宮本 大介	濱松 永昌	宮本 大介
		②	澤原 夢	市瀬 裕一	富澤 学之	竹熊 勇登		市瀬 裕一
		③	富澤 学之	渡邊 成美	玉置 博之	安藤 稔/第5.休		第1 稲垣裕介 / 第2.4.5 岸川直輝
		④	伊藤 直人	伊藤 直人	岡野 真弓	伊藤 直人	佐々木順子	庫川 恵理
		⑤	庫川 恵理	川崎 麻紀	庫川 恵理	井上ゆか子	岡野 真弓	
		⑥	藤井 大輔	八尾 厚史		藤井 大輔		
	午後診療	①	宮本 大介	北濱真理子	鈴木知沙季	宮本 大介	永岡茉莉奈	
		②	伊藤 直人	川崎 麻紀	玉置 博之	安藤 稔/第5.休	第1.3.5 宮本大介	
		③	藤井 大輔		澤原 夢	澤原 夢	交代 制	
		④	交 代 制		井田真規子		第2.4 藤井大輔	
総合診療科 （院内標榜）	午 前			南郷 栄秀				
	午 後				南郷 栄秀	田中 祥子		
内 視 鏡	午 前	鈴木辰典(内科)	安永浩基(内科)	濱松永昌(内科)	濱松永昌(内科) 宮野省三(外科)	飯岡愛子(外科)	井上幸紀(外科)	
	午 後	交代制(東大)	交代制(JOHO東京 新宿メディカルセンター)	濱松永昌(内科)	濱松永昌(内科) 宮野省三(外科)	田中敏明(外科)		
外 科	午 前	井上 幸紀	井上 幸紀	松延修一郎	田中 敏明	井上 幸紀	田中 敏明	
乳腺外科	午 前	加藤 昌弘	菊山みずほ(リンパ浮腫)	菊山みずほ	菊山みずほ		菊山みずほ	
	午 後		神野浩光/岩瀬 哲					
泌尿器科	午 後	勝井 政博			勝井 政博			
整形外科	午前	①	小川 政明	橋本 健史	小川 政明	第1.3 村越 薫 第2.4.5 土岐尋江	三箇島吉統	交 代 制
		②	小林 亜里	小林 亜里	土岐 尋江	小林 亜里		
		③	土岐 尋江	増淵 茉侖				
産婦人科	午 後		宮本英明 14:00～15:30 （予約のみ）					
	午前	初 診	兼子 絢華	第1.3.5 戸田里実 第2.4 清水莉璃	清水 莉璃	増澤 利秀	小野あすか(9:30～)	宮越 敬
		再 診	山内 潤	山内 潤	増澤 利秀	山内 潤	宮越 敬(10:30～)	増澤 利秀
			山内 美和	宮越 敬	山内 美和	山内 美和	戸田 里実	戸田 里実(～12:30)
午後診療				胎児診断外来/宮越 敬	腫瘍外来/片岡史夫		兼子 絢華	
小 児 科	①	①	江崎奈緒子	岩丸 良子	江崎奈緒子	大塚 素子	江崎奈緒子	大塚 素子
		②	前田 由美	前田 由美	新貝千賀子	前田 由美	高橋 美希	前田 由美
		③	山中 聡子	隔月1回 石田 悠(神経)		第3除く 岩丸良子(神経) 第3 松井順子(神経)		第1.5 松井順子
		④		江崎奈緒子(予防接種)	前田由美(予防接種)	高橋美希(予防接種)	大塚素子(予防接種)	
	乳幼児健診			大塚 素子	山中 聡子	猪野雅孝(BCG)	岩丸 良子	
	1か月健診	猪野 雅孝	大塚 素子	猪野 雅孝	前田 由美	岩丸 良子		
		前田 由美	岩丸 良子	山中 聡子	大塚 素子	高橋 美希		
	江崎奈緒子							
		新生児フォローアップ/猪野雅孝 心臓/島田衣里子第2月除く	アレルギー/前田由美 夜尿症/大塚素子 予約/岩丸良子	アレルギー/前田由美 新生児フォローアップ/猪野雅孝 新生児フォローアップ/山中聡子	神経(月1回)/衛藤 薫 予約/岩丸良子	アレルギー/江崎奈緒子 予約/大塚素子 予防接種/岩丸良子 予防接種/高橋美希		
	精 神 科			永富めぐみ	永富めぐみ	非 常 勤	永富めぐみ	永富めぐみ
耳 鼻 咽喉科	午前	中川 秀樹	中川 秀樹	横井 秀格	齋藤康一郎	中川 秀樹	中川 秀樹	
		大石 直樹		第2 斉藤秀行			交代制(慶應大・杏林大)	
眼 科	午前	太根 ゆさ	戸ヶ崎英理奈	戸ヶ崎英理奈	戸ヶ崎英理奈	海田 千恵	第2.4 戸ヶ崎英理奈	
		不定期 戸ヶ崎英理奈		河井 明佳	落合 淳一	非 常 勤	非 常 勤	
皮膚科	午前	1 診	西牟田真由	西牟田真由	小林 里実	平山愛里彩/西牟田真由/交代制	第2.4 小林里実	西牟田真由
		2 診	平山愛里彩	平山愛里彩	矢作 美奈	西山有希子	第1.3.5 平山愛里彩	平山愛里彩
	午後	専門外来	川上 理子	小林 里実	川上 理子	特殊治療/小林里実	西山有希子	第1吉田 傑 / 第2.4近藤明里
			小児皮膚科・小児レーザー/ 川上理子	乾癬・掌跖膿疱症・小児し ーザー/小林里実	小児皮膚科・小児レーザー/ 川上理子	手術/ 小林里実	乾癬・掌跖膿疱症/ 第2.4 小林里実	

*休診日：日曜、祝祭日、第3土曜日、クリスマス(12月25日)、年末年始(12月30日～1月3日)

予約センターについて

代表電話からはお繋ぎする事ができません。全科診療予約については、予約センターにて受付致します。下記時間内に直通電話にてご連絡をお願い致します。

予約受付時間	平 日	9:00～16:00
	土曜日	9:00～12:30(第3土曜日除く)
予約センター電話番号	03-6908-1717	

※産婦人科・乳腺外科以外の科は、当日予約は受け付けておりません。
※検査の予約変更・キャンセルについて、医療上のご質問がある場合は各科外来へご連絡ください。
※診療状況によりご希望の日程で予約が取れない場合がありますが、予めご了承ください。

編集後記



聖母病院
ホームページ
QRコード

当院の情報については、聖母ニュースのほか、ホームページ・ブログでもご覧いただけます。診療に関することやイベントの情報など、盛りだくさんでお届けしております。是非一度、閲覧してみてください。T.O

【聖母ニュース】 偶数月15日発行/受付・待合室に設置
【聖母病院ホームページ】 <https://www.seibokai.or.jp/>
【聖母病院ブログ】 <https://ameblo.jp/seibo-hp>